領　収　証

鹿屋市議会議員
原田靖　様

No.
2025年9月1日

金額			47	320

【内消費税10%　[illegible]円】

上記の金額正に領収いたしました
但し[illegible]旅費として

収入印紙

有限会社 旅くらぶ21
代表取締役 池田美知子
〒893-0013 鹿児島県鹿屋市[illegible]
サム[illegible]
TEL(0994)[illegible]
FAX(0994)[illegible]
登録番号 T7340002025830

領収証

No.

原田靖 様

¥16,750円

但　第13回東アジア唐芋友好大会研修交通費 として

収入印紙

2025年9月30日　上記の金額、正に受領いたしました

内訳
税抜金額
消費税額等（ %）

NPO カラー芋ワールドセンター[redacted]
理事長　郷原　繁樹

[redacted]

領収証

No.

原田靖 様

¥10,000円也

但　第13回東アジア唐芋友好大会参加費 として

収入印紙

2025年7月29日　上記の金額、正に受領いたしました

内訳
税抜金額
消費税額等（ %）

東アジア唐芋友好協会[redacted]
会長　郷原　繁樹

[redacted]

令 和 7 年 度 行 政 視 察 研 修 報 告

鹿屋市議会議員
原　田　　靖

□研修期日

令和7年11月10日（月）～　11月12日（水）

□同行議員

原　田　　靖　　西　薗　美恵子
伊　野　幸　二　　中　馬　美樹郎

□研修場所

（1）　東京都
　　○第１３回東アジア唐芋友好大会
　　会場：東京農業大学横井講堂
（2）埼玉県川越市
　　○サツマイモを活かしたまちづくりについて

□研修報告

１．東京都
第１３回東アジア唐芋友好大会

◇大会テーマ

『食糧危機にカラー芋を活かそう』

会　場：東京農業大学横井講堂
主　催：東アジア唐芋友好協会

◇はじめに

東アジア唐芋友好協会では、日本と中国、韓国の三カ国で唐芋の栽培、加工、販売などの関係者、大学、研究機関、行政、報道などの幅広い有志が参画して、年一回の交流大会を三カ国の持ち回りで開催してきた。２０２５年は東京農業大学との共催により盛大に開催された。

今回の大会では、近年の異常気象等を背景に「今後の食糧危機に備えて、カラー

芋をどう活かすか」というテーマで講演・発表が行われた。以下にその概要を紹介する。

◇基調講演

（1）世界の食料安全保障におけるサツマイモの重要な役割

劉　慶昌　中国農業大学教授

・FAO（2023）によれば、作物の中でサツマイモの収穫面積は第11位、生産量では第8位と重要な地位を占め、アジアが面積では37.4%、生産量では62.2%。
・中国は、栽培面積が232万㏊、生産量が5,162万トンで、それぞれ世界の30.6%、55.2%を占めている。単収が最も高い22.2トン／㏊で世界平均の1.8倍。
・現在は、乾燥地など条件不利な土地で栽培されており、増産の余地が大きい。
・今後、栽培技術の改良により収量の向上と生産コストの削減が可能。
・国内には多くのサツマイモ産業団地や加工企業があり、様々な商品が製造されていることがスライドで紹介された。

（2）気候変動に立ち向かう海南の選択サツマイモを見直す

朴　正童　海南農業技術センター所長

・韓国でも過去100年の間（1912～2017）に平均気温が1.8度上昇し、温暖化が進行。降水量も年間で163㎜上昇し、地域的に両極化が進行。
・猛暑や熱帯夜の日数増加により、高温多湿性病虫害の拡散や光合成の低下と水分ストレスの深化、同化産物の枯渇等が生じている。
・2023年にはサツマイモ基腐れ病が発生し、被害面積は200㏊前後で全体の約1割、翌年には、アジャンボタニシ、トビィロウンカ、稲のコウコウムシによる被害が発生。
・韓国の食料時給率は20.2%まで低下しており、脆弱な穀物在庫と相まって国家の安全保障にとって脅威となっている。
・農作物の作付け面積も、全国では1975年から2020までの間に64%減少している中で、海南郡は増加傾向で推移。（サツマイモは横ばい、ジャガイモは増加）
・ただし、塊根肥大期の猛暑日数や栽培期間における局地的豪雨や干ばつ被害が増加している。
・このような状況の中で、サツマイモの単位面積当たりの生産カロリー、扶養可

能人口は他作物よりも大きい。（米の３倍）

・生育の柔軟性、高温適応性、干ばつ耐性、加工活用性などの面からサツマイモの価値が見直されており、従来の食料作物としての役割に加えて、医薬やバイオエタノール、更には加工食品への産業的利用の拡大が見込まれている。

・上記の加工利用の具体例がスライドで示され、最後に海南郡では、サツマイモによる持続可能な農業の展開を目指していることが紹介された。

（３）我が国における食料安全保障の実態とカライモガ果たす役割

堀田　和彦　　東京農業大学名誉教授

・現在、アジア各国の経済発展、穀物のバイオエタノール利用、世界的な天候不順による供給の不安定化、ロシア（肥料輸出国）とウクライナ（穀物輸出国）の紛争等により旋回の食糧需給の不安定要因が拡大。

・世界ならびに日本の食糧需給の推移と予測に関するデータをスライドで紹介。

・食糧農業農村基本法では、食糧安全保障を「国民が将来にわたり良質な食糧を合理的な価格で安定的に入手できる状態を指し、その確保は不可欠」と定義

・不測時の対応については、予兆段階での連携強化、備蓄の活用、輸入の拡大、生産の増強、流通の制限、管理で対応することが法律で明文化。

・カライモガが持つ生産面での特性（高温・感想耐性、痩せ地・酸性土にも耐える等）や、消費面での特性（ビタミン類、植物繊維、多様な食材への加工適正等）から、カライモは、今後の食糧安全保障にとって重要な作物。

・不安定な食糧供給局面を迎える前から、より一層の利用促進、発展を検討しておくことが必要。

◇研究発表

日本の農地保全と食料安全保障

―茨城県における荒廃農地再生と甘藷生産から―

功刀陸大　東京農業大学大学院

・日本における食料安全保障と甘藷生産について、食料安全保障の確保の実態を農地という最も基本的な指標で整理し、その上で甘藷の政策的な位置づけを

確認し、実際に荒廃農地を再生して甘藷生産に取り組んでいる事例をレポート。

・耕地面積は非農業用途への転用や荒廃農地の増加により、一貫して減少傾向にあり、1961年～2024年の間の展用地開発が約１１５万㌶に対して、転用や荒廃は297万㌶。

（荒廃農地は、現に耕作に供されておらず、荒廃して通常の農作物では栽培が客観的に不可能な農地）

・活用可能な農地や農業資源をフル活用することで得られる１人・日当たりのカロリーを試算すると、甘藷などの「いも類中心の作付け」により、推定エネルギー必要量（2，167キロカロリー／人・日）はカバーできる。

・日本産甘藷は甘く、スイーツとして人気があり、青果、加工品共に需要が拡大傾向にある。

・茨城県は甘藷の作付面積と生産量は全国第２位だが、産出額では第１位。一方で、荒廃農地の再生面積累計で8，465㌶と全国１位。

・県単事業である「茨城かんしょトッププランナー産地拡大事業」により、甘藷生産と干しいも加工に取り組んだ２事例（(株）ユタカファーム 22㌶、(株）芋助20㌶）を紹介。

◇事例発表

（１）鹿児島におけるからいもについて

海老原　純一鹿児島の食を学ぶ会

・鹿児島県農業高校に勤務する間、鹿児島県農業試験場に出向し、作物部主任研究員（稲・麦・大豆担当）として勤務。現在、２校の農業高校で非常勤講師、鹿児島県有機農業協会の有機JAS検査員、鹿児島市食育推進支援委員、食育アドバイザー。

・郷原会長と共に、からいもロンド（講話＆料理講習）を実施した際の状況をスライドを使って紹介。

・日々、刊行している「えびじゅん食育タイムズ」のうち、サツマイモ関連のものを紹介。（サツマイモでん粉、あめんどろ他）

（２）COLORED SWEET POTATO

郷原　拓東　東京農業大学OB

・オリジナルの唐芋ケーキを製造販売する会社を設立した際に、フランスの「人間国宝」パティシェであるデビット・ヴェスマエル氏（M・O・F：フランス国家最優秀職人賞）を招いて商品開発を依頼。
・同氏は初めてカラー芋に出会って衝撃を受け、「これは奇跡の食材だ」と明言。
・理由は、ケーキの素材そのもので色が出せることから一般的には必要な着色料が不要、色によって味や栄養分、健康機能等が異なる。メインテーマ（原料）として使えること。カラー芋のアイスクリームが冷やした方が美味しくなることにも驚いた。
・実際に自分で作って食べることが肝心。家庭で出来る「カラー芋ペースト絞り」のレシピを紹介。
・この他、カラー芋を用いた製品のレパートリーを紹介。

◇時期開催地紹介

・2026 年は、韓国の農漁村の首都海南郡で開催することとなり、海南農業技術センターの朴所長から現地の農業事情等について説明が行われた。

◇まとめ

鹿屋市は、４４８．３３K㎡の広大な面積を持ち、その大部分が火山灰からなるシラス土壌や山林に覆われているとともに、１級河川の肝属川をはじめ多くの河川が縦横に流れている。加えて、台風の通過が多い地域でもあることから、大雨や洪水、暴風などによる災害が発生しやすい環境にある。

一方、高齢化や過疎化の進行に伴い、災害時に１人では避難できない要援護者が増えてきており、地域において互いに支え、助け合う体制づくりも急がれる。

今回、防災行政の取り組みについて、先進的な愛知県豊橋市を訪問し事例を交えながら研修の機会を得ることができた。特にデジタル技術の進化は、従来の防災体制に革新的な変革をもたらす可能性を秘めている。最新技術を活用した防災 DX は、直面するさまざまな課題に対する有効な解決策になりつつあることを強く感じた。

また、災害発生時における状況の正確な把握と適切なタイミングでの

住民への情報伝達は、防災対策の根幹をなす重要な要素であり、その現場での多くの課題に直面していることも改めて理解できた。

また、防災体制を強化するには、デジタルシステムの導入だけでなく、人材育成や組織体制の整備まで含めた総合的なアプローチが必要であり、実践的な防災体制強化の方法について学ぶことができた。

特徴として豊橋市では、デジタル技術を活用した情報共有システムと従来からの自主防災組織を効果的に組み合わせることで、都市の利便性と地域の結びつきを両立した防災体制を実現している。たとえば、メール配信サービス「豊橋ほっとメール」を通じて、災害情報や避難情報を電子メールで市民に提供している。また、外国人対応として多くの言語に対応しており、多様な市民のニーズにも対応している。

今回の研修から、防災の最前線に立つ自治体職員の視点から、現場が抱える切実な課題とデジタル技術を活用した具体的な解決策について実例を交えて学ぶ機会を得ることができた。

政　務　調　査　費　領　収　書

項　目：広　報　費

○活動記録　デザイン費用　印刷費　　２２０，０００円
［Ａ３両面カラー・三つ折り・２５００枚］

○郵便料金　　２９，８５６円

合　計　　２４９，８５６円

領収書

原田 やすし　様

［別納引受］
区内特別基（定）　18.5g
@96　178通　¥17,088

小　計　¥17,088

郵便物引受合計通数　178通
課税計(10%)　¥17,088
(内消費税等(10%)　¥1,553)
非課税計　¥0

合計　¥17,088
お預り金額　¥17,100
おつり　¥12

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2026年 2月10日 12:45
発行No.[redacted]
連絡先：鹿屋郵便局
TEL:0570-943-314

領収書

原田 やすし　様

［別納引受］
区内特別基（定）　18.5g
@96　133通　¥12,768

小　計　¥12,768

郵便物引受合計通数　133通
課税計(10%)　¥12,768
(内消費税等(10%)　¥1,160)
非課税計　¥0

合計　¥12,768
お預り金額　¥13,000
おつり　¥232

〒100-8792　日本郵便株式会社
東京都千代田区大手町２－３－１
登録番号　T1010001112577
取扱日時：2026年 2月 2日 14:10
発行No.[redacted]
連絡先：鹿屋郵便局
TEL:0570-943-314

令和８年２月10日

鹿屋市議会議員 原田靖 様

株式会社スポットライト
〒893-0007
鹿児島県鹿屋市北田町8-9
TEL: [redacted]
登録番号: T5240001020621

領 収 書

金 額： ￥220,000－

（うち消費税額等： ￥20,000－ 税率10%対象）

但し、活動記録 企画構成費用・印刷費として

上記正に領収いたしました。